

2006年度 歳出純計額(決算ベース)

単位未満切捨て

統計額	一般会計 歳出純計	特別会計 歳出純計	国債償還 など	地方交付 税交付金な	財政融資資 金への繰入	社会保険 給付	その他事務 事業費など
250.9兆円	33.6兆円	217.2兆円	113.2兆円	20.6兆円	25.5兆円	47.9兆円	9.9兆円

国の平成18年度決算 重複を除く 民主党 長妻 昭 NC年金担当担当大臣

# こんな「借金」に誰がした!

嵯峨 十郎

民主党、長妻昭NC年金担当大臣の報告によると、我が国の借金が1千兆円を超えている。

収入は53・4兆円で、支出は82・9兆円。支出の64・5%しかない。差額は、国債発行で賄っているのが現状。

支出の内訳は、国債費20・9兆円、地方交付税交付金14・9兆円、防衛費4・8%、その他8・8%、社会保障費21・1兆円、公共費6・9%、文教及び科学振興費5・2%となっており、長く続く自民党政権の「がん」は、H A T K Z (ハットカズ)。Hは「ひも付き補助金」。Aは「天下り幹旋」。Tは「特別会計」。Kは「官製談合」。Zは「随意契約」。

また、国からの天下り(2006年)2万6632人、4696法人に12兆6047億

円(月1兆円)の税金が流れている現状があり、これらを根絶し、根幹からだす必要があると長妻氏は答えた。

毎年、20兆円近くの金利が確実に支払われ、少子高齢化が進む中、国民一人当たり20万円に相当し、その負担が国民に重くのしかかっている。この金額は毎年支払われている社会保障費の総額に匹敵し、先送りは次世代に大きな負担となる。

現在の政治家に返済目標がなぜ聞えないのか。例えば、金利がいくらで、現状では返済に百年から5百年かかるとか、なぜかマスコミ各社も政治家も触れようとせず、政治家と官僚に利用され読者中心の本来の報道を忘れている現状では?

2兆円、3兆円の問題で予算不足とか報道しても、消費税が

10%にも相当する金利負担は只事ではない。

若者に政治家や官僚の責任を追及する監視や大規模なデモなどの動きはない。現代社会はなぜ大人しい日本の虚勢された社会は、ますますグローバル化する国際社会での競争力に対応できるか、日本に不安が残る。

元総理の権限が70歳を過ぎた高齢者が国家を仕切り、その動向ばかりを気にして先を読む状況は、なぜか徳川、明治時代の末期に似てきているが、財を成している人は、すでにファミリーの安泰だけを念頭に考え、口だけ達者になっている政治家と官僚には無縁のことだ。

元金5兆円を毎年返しても2百年かかる。1千兆円もの国の債務など戦争でも起きない限り解決の道はない。

# 毎日40,821,910円の金利払い

## 県債 銀行の肥し!

過去5年間の福井銀行引受け分 (単位:億円)

年度	利払額	年度末残高
15年度	55	2,445
16年度	45	2,339
17年度	37	2,152
18年度	32	2,047
19年度	30	2,027

※19年度は決算見込額

平成19年度元金返済額(決算見込額)(単位:円)

借入先	返済額
福井銀行	15,227,422,342
その他民間金融機関	180,000,000
市場公募(ミニ公募)	0
政府資金	34,019,539,726
公営企業金融公庫	3,056,250,524
共済組合	761,040,000
保険会社	9,500,000
計	53,253,752,592

平成19年度利子返済額(決算見込額)(単位:円)

借入先	返済額
福井銀行	2,990,173,967
その他民間金融機関	1,457,421,000
市場公募(ミニ公募)	14,960,000
政府資金	8,574,397,302
公営企業金融公庫	921,541,935
共済組合	239,916,910
保険会社	90,250
計	14,198,501,364

年間平均16.5億円の金利支払い、福井県借金も年々増え、返済も厳しくなっています。

# 一般会計だけで、10年間累計 県債7559億円発行 利子支払1656億円 赤字県債2075億円

年度別県債発行額 (単位:億円)

年度	県債発行額	元金返済額	利子支払額	元利支払額	赤字県債額
平成3年	361	176	127	303	185
平成4年	454	183	128	311	271
平成5年	681	405	137	542	276
平成6年	827	379	155	534	448
平成7年	858	177	175	352	681
平成8年	842	208	193	401	634
平成9年	828	278	201	479	550
平成10年	926	354	202	556	572
平成11年	813	426	202	628	387
平成12年	660	482	198	680	178
平成13年	676	511	186	697	165
平成14年	856	548	178	726	308
平成15年	862	586	161	747	276
平成16年	801	692	153	845	109
平成17年	778	608	144	752	170
平成18年	739	566	142	708	173
平成19年	714	533	143	676	181
平成20年	660	532	149	681	128
合計	13,336	7,644	2,974	10,618	5,692
過去の参考年度					
平成2年度	410	170	121	292	240
昭和60年	179	168	127	296	△117
昭和55年	230	73	84	158	72

※11年度～18年度は決算額、19年度は決算見込額、20年度は当初予算額